

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2015
平成27年

11.15

毎日の元気は
美味しい食卓から!

目次

「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
彦坂和夫の魅力を探る	
今月の花「レイコのコレイいね」	
地域の話	
スクールレポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 彦坂和夫の魅力を探る……………2ページ
- 食生活改善推進員・今月の花……………3ページ
- 地域の話(福江校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

市民登壇! 画家 彦坂和夫の魅力を探る



永田篤子 (童浦校区)

田原市出身の画家、彦坂和夫さん。

画家だけでなく、環境保護活動にも取り組む彦坂さんの魅力をお伝えします。

皆

さんは、田原市ゆかりの画家と聞いて、思い浮かぶ方はどなたですか。多くの方は、藩士学者・画家とさまざまな顔を持っていた渡辺華山の名前が出てくると思います。



●行動美術展奨励賞を受賞した作品「酸化する空間」

今回は、激動の幕末を生きた渡辺華山ではなく、現在も活躍している田原市出身の彦坂和夫さんについてご紹介します。

彦坂さんは、田原中学校在学中、仲谷孝夫氏に美術の指導を受け、その後、成章高校、武蔵野美術大学(現在の武蔵野美術大学)で西洋画を学びました。



●来場者へのお礼として作ったポストカード

行動美術協会展入選や行動美術協会奨励賞受賞という絵画や立体芸術で数多くの受賞歴を持っています。

田原市博物館では、平成23年に夏の企画展「彦坂和夫展」、平成25年に「田原の美術」仲谷

孝夫・彦坂和夫展」を開催しました。

その際、彦坂さんは来場者へのお礼としてご自身で作品を掲載したポストカードを作成したこともあったそうです。彦坂さんの人柄が伺えますね。

美術を通して考える環境保全

彦坂さんは、美術だけではなく、環境保護活動にも熱心に取り組んでいます。描いていた松の木が松食い虫に食われたのがきっかけでした。絵を描く以前と環境が変わっていることに気づき、環境汚染に対する思いが生まれたそうです。その意識は、非絵画としての立体芸術などを通して自然と歴史の大切さを訴えています。

平成23年に開催した企画展のテーマも、アートをエコロジーに結びつける「自然との共生」



●機械の虫

でした。

国の自然再生事業にも積極的に携わり、中心メンバーとして活動した河川の再生活動では成功を収めています。その活動は現在も「野川ほたる村」として継承され、都市部での貴重な清流を維持しています。

彦坂さんの作品は、「自然との共生」の大切さを気付かせてくれる力強いメッセージが込められていました。

取材を終えて

私は、結婚を機に田原市に移住したのですが、以前から彦坂さんの作品が好きで、田原市に引っ越したら博物館で、彦坂さんについて調べてみたいと思っていました。今回、皆さんに彦坂さんの作品を知っていただきたいと博物館で取材をしてきました。この記事に合わせ、博物館では、12月6日まで、特別に何点か彦坂さんの作品を展示していただけるそうです。皆さん、ぜひこの機会に人と自然を愛する彦坂さんの作品を間近でご覧ください。



私たちの健康は私たちの手で

「平成二十七年ボランティア功労者表彰」を受賞

投稿 田原市健康づくり食生活改善協議会

私

私たちの健康は私たちの手でをスローガンに、53名の食生活改善推進員で、食を通じた健康づくりのボランティア活動をしています。トレードマークは、黄色とピンクのエプロンです。

健康を考え、た調理実習を行っています。



外国出身ママお料理クラブや親子料理教室などさまざまな教室で食の大切さやバランスのとれた食事について普及啓発を行っています。

本年度、多年にわたるボランティア活動の実績が認められ「平成二十七年ボランティア功労者表彰」を受賞しました。

ボランティアのほかに、月1回定例勉強会を行い、



●親子料理教室



●JA健康会議



●おにぎりキャンペーン

食生活改善推進員とは、田原市が開催する食生活改善推進員養成講座を受講し「田原市健康づくり食生活改善協議会」の会員となり、食を通じた健康づくりの活動をしていただく方です。皆さんも、食生活改善推進員になって、自分も周りの人も健康に、そして楽しい毎日を送りませんか。興味のある方は、健康課までご連絡ください。

▼健康課 ☎23局3515

今月の花

レイトのコレいいね 17

▶農政課 ☎23局3517

◎22日には感謝の気持ちと花を



11月22日は「いい夫婦の日」です。この日はコミュニケーションが苦手とされる日本人の夫婦がお互いに感謝の気持ちを伝えるきっかけをつくることを目指しています。

また、JAあいち経済連では、11月22日は「パートナーズデー」として、記念日以外の日にも花を贈ることを提唱しています。花を贈ることが習慣になればとても素敵ですね。

田原市で栽培された色とりどりの花を、ご夫婦だけでなく、友人や仕事仲間にも日ごろの感謝を込めて贈ってみてはいかがでしょうか。



11月の 渥美半島の花と鉢花



輪ギク
(花/出荷時期:通年)

花ことば

高潔

皇室の紋章で日本を代表する花。県内1位の生産量、約3億5000万本出荷されています。



ポインセチア
(鉢花/出荷時期:10月下旬~12月上旬)

花ことば

祝福、幸運を祈る

クリスマス飾る花として有名で、県内1位の生産量、約60万鉢出荷されています。



▲花壇の手入れの後は、市民館ロビーで話が花が咲きます



▲福江小児童と花壇の手入れを行う『はつらつ隊』

地域の話題

福江校区

ふれあいとくつろぎの時間を大切にすま

市民館や校区の活動を通し、シルバー世代の交流や

活躍の場づくりに取り組んでいる

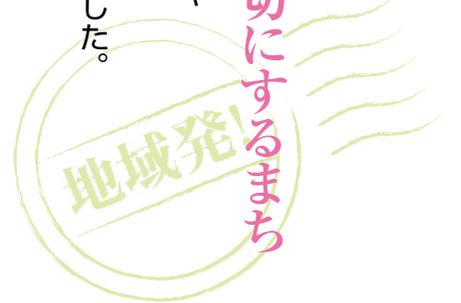
福江校区「コミュニティ協議会からお便りが届きました。



シルバー世代が活躍『はつらつ隊』

福江校区には、元気なシルバー世代が大勢います。しかし、さまざまな事情から老人会の活動が続けられなくなった地域では、外出する機会や人と触れ合う時間が減ってしまうのでは、と心配する声が聞かれました。

そこで、福江校区コミュニティ協議会では市民館の花壇を手入れし、その後、ロビーでお茶を飲みながら楽しくおしゃべりをして過ごしてもらおう『はつらつ隊』を発足しました。昨年度末に募集を始め、現在12名が登録しています。月に1回程度の活動ですが、伸び放題だった花壇の草は、あっという間にきれいになり、シルバー世代のパワーを感じます。



6月には、福江小学校2年生の児童の皆さんと一緒に花の苗を植えました。土の掘り方や植える場所を教えながら、かわいらしい子どもたちとの触れ合いを楽しみました。

校区行事でも交流、活躍

毎年10月に開催する『福江市民館まつり』は、市民館を利用してカラオケや手芸のグループが、日ごろの活動を披露する場となっています。

また、多世代間の交流の場として、福江保育園で『わくわくパーク』を開催し、園児と老人会をはじめとする地域の役員、委員が触れ合う機会となっています。



▲『わくわくパーク』では園児とシルバー世代が昔の遊びで交流

福江校区では、このような活動を通して、シルバー世代が生き生きと楽しく過ごせるまちづくりを進めています。





市民活動を応援するページ



イベント紹介

第5回ANN講座 まちづくりトーク&ライブ In Atsumi

平和で心豊かな社会を祈念して…

50歳代、60歳代そして70歳代以上の人たちには懐かしく、もう少し若い人たちには「なんとなく聞いたことがあるな」、もっと若い人たちには、聞いたこともないかもしれない。そんなフォークソングを聴き、まちづくりとこの国のあり方を語り合ひましょう。

歌声喫茶のように、会場の皆さんも一緒に口ずさんでください。最後はみんなで「椰子の実」を歌いましょう。どなたでもお気軽にご参加ください。

日時：12 / 13 日 14:00～16:00

会場：中山市民館 2階集会室

出演・講師：KITT-on【井口貢氏（同志社大学政策学部教授）、桑原利彦氏（ライヴハウス CANVAS 主宰）、多田実氏（同志社大学政策学部教授）、高井一氏（東海テレビ放送アナウンサー）】

定員：約70名（先着順）

参加料：無料

申し込み：12 / 4 日までに、電話またはFAXにて（FAXの場合は氏名、電話番号を明記）

主催：あつみNPOネットワーク

▶あつみNPOネットワーク事務局 ☎090-9226-1977（北原） ☎FAX 32-3963（森下）



▲KITT-onの皆さん

市民活動紹介

NPO法人 渥美半島ハイキングクラブ

ハイキングをとおして環境やまちづくりを考えます

渥美半島の登山道の整備や環境保全活動をとおして、自然環境やまちづくりを考える活動をしています。今年度、田原市の人材養成活動補助金を利用し、国立登山研修所などが主催する「中高年安全登山指導者講習会」を、2泊3日の日程で受講しました。



●気象・観天望気の実技講習

講習会では、机上で「中高年登山の課題」「気象遭難の防止」、実技では、「コンパスによる現在地の確定」や「救急搬送」「観天望気」の講習がありました。この講習会で得た知識を、ハイキング愛好者を指導する場合や、クラブ内での指導者養成に生かしたいと思います。

また、来年2月には、「あつみトレイル横断ハイキング」を開催します。

皆さんもぜひ、ご参加ください。

※詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ

NPO法人 渥美半島ハイキングクラブ（鈴木一敏）

☎090-7863-3229 ✉rakuen@tees.jp

田原市民活動支援センター

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎22局1111（内線812）※開設時間のみ

FAX 23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。



スクールレポート

SCHOOL REPORT 86

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「食についての学習」と「交通安全キャンペーン」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原南部小学校 「食についての学習」

栄養たっぷりの朝ごはんを

田原南部小では、「栄養たっぷり朝ごはんを食べよう」をテーマに、栄養バランスのよい朝ごはんについて考える取り組みをしています。学校保健委員会では、保健・給食委員会の児童が「食べ物のもつパワー」について発表したり、家の人と一緒に「朝ごはんを短時間で作るにはどうしたらいいか」を話し合ったりしました。学んだことを家で実践し、親子で朝ごはんを見直す機会となりました。

6年生は、ベジエール渥美の皆さんを招いて、短時間で作る朝食の実習を行いました。3つの栄養素を取り入れたメニューを考え、野菜の切り方や調理の仕方、調理器具の使い方など、いろいろなことを伝授してもらいながら、楽しく作ることができました。

食についての学習を重ねることで、自分の食生活に関心を持ち始めた子どもたち。今後も子どもたちの健やかな成長のために、継続して取り組んでいきます。



●短時間でできる朝食を考えました



●野菜の切り方を教わっている児童



●サツマイモを収穫できました

亀山小学校 「交通安全キャンペーン」

安全を願う気持ちをサツマイモとともに

亀山小では、毎年「交通安全キャンペーン」を行っています。交通事故が少しでも減るように、学校前の国道259号を通るドライバーに安全運転を呼びかけます。安全を祈願した手紙と、心を込めて作ったサツマイモを袋に詰めて、「安全運転をお願いします。私たちの育てたサツマイモです。どうぞ」と言って手渡します。

このサツマイモは、学校の近くの畑で育てました。今年は、雨が多く大変でしたが、PTAの方が朝から水抜きをし、畝を作ってくさったので、なんとか苗を植えることができました。子どもたちは、長靴を履いて畑に入り、軍手を土で真っ黒にしながらも真剣に植えることができました。植えた後は、掃除の時間にたびたび草取りに行きました。

10月、りっぱなサツマイモができました。子どもたちは、大きなイモを手にして大喜びです。PTAの方に協力してもらいながら一生懸命育てたので、きっとおいしいに違いありません。10月16日(金)、このサツマイモに安全を願う気持ちを込めて、今年もドライバーに交通安全を呼びかけることができました。



●交通安全を呼びかける児童



▲特設広場では、約500名の園児たちが「こども踊り」を披露しました



▲ゲームコーナーでボウリングを楽しむ第一保育園の園児たち



▲ポンプ車操法の部優勝を果たした神戸分団2号車の気迫のこもった演技

10月25日(日)

市民が主役の
フェスティバル！

田原市民まつりが田原文化会館周辺で開催され、約3万人の来場者でにぎわいました。「市民がつくる市民のためのまつり」として行われたこの行事。会場では、物産体験コーナーなどが並んだほか、ステージイベントではさまざまなパフォーマンスが会場を沸かせていました。

10月16日(金)

地域のみなさん！
ようこそたつぷくへ

田原福祉専門学校の学園祭「たつぷく祭」が10月16日(金)・17日(土)の2日間で開催されました。校舎玄関前で模擬店が開かれたほか、校内では各種体験コーナーなどが設けられ、地域や福祉施設などから訪れた皆さんが、学生との交流を楽しみました。

10月17日(土)

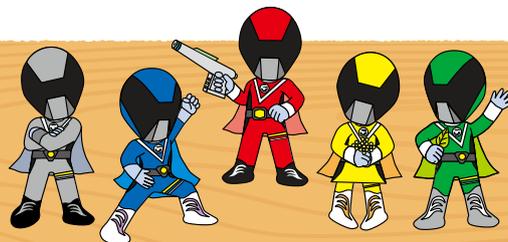
団結力で魅せる
熱き消防魂！

田原市消防団ポンプ操法大会が赤羽根文化広場で開催され、市内10分団から団員74名が出場しました。

成績は次のとおりです。※敬称略

【ポンプ車操法の部】優勝：神戸分団2号車（刈屋宏規、福井知悟、小松充、白井章悟、鈴木雅峰） 準優勝：童浦分団2号車 3位：神戸分団1号車【小型ポンプ操法の部】優勝：野田分団2号車（山田大輔、杉浦慎哉、大村俊介、鈴木敦之） 準優勝：赤羽根分団2号車 3位：南部分団1号車

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん ③



●エコ普及啓発ポスター優秀作品をご紹介します。

たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会では、平成27年度エコ普及啓発ポスターの優秀作品を決定し、10月25日(日)の田原市民まつりで表彰式を開催しました。

最優秀賞および優秀賞の作品をご紹介します。その他の入選作品も、市ホームページで公開していますのでぜひご覧ください。

▶たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会事務局(環境政策課内)
☎ 23局 7401 FAX 23局 0180 <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

◆小学校低学年の部



【最優秀賞】

伊良湖岬小3年 野村里奈さん



【優秀賞】

田原東部小3年 澤口育穂さん



【優秀賞】

童浦小2年 田中奏多くん

◆小学校高学年の部



【最優秀賞】

清田小6年 秋元美空さん



【優秀賞】

衣笠小6年 松下喜洋くん



【優秀賞】

泉小4年 神谷紋羽さん

◆中学校・高校の部



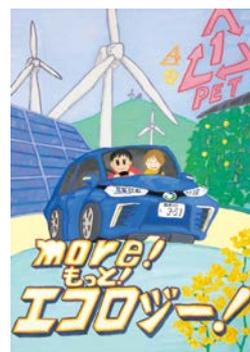
【最優秀賞】

東部中1年 今川恵さん



【優秀賞】

東部中1年 彦坂友紀さん



【優秀賞】

豊橋高2年 三浦知夏さん

引き継がれる山のまちとの交流

長野県阿南町(昭和59年友好都市提携)



昭和59年に旧渥美町と友好都市提携を結んだ阿南町とは、現在も小学生の交流行事や民間の物産展出店などを通じ、交流が続いています。

●伊良湖岬小学校との交流

6月2日(火)、和地海岸で、阿南町の4つの小学校の5年生が伊良湖岬小学校の5年生と貝殻集めなどのレクリエーションを行い、交流を深めました。

また、6月24日(水)～26日(金)には、伊良湖岬小学校の5年生が阿南町を訪れ、山の生活や自然を体験しました。さらに、先に和地海岸で交流した阿南町の児童の皆さん



●名刺交換の様子(大下条小)

と大下条小学校で再会し、ゲーム形式で交流会を行い、楽しい時間を過ごしました。

●サンテパルクたはら収穫祭に出店

11月29日(日)に開催されるサンテパルクたはら収穫祭では、恒例の阿南町物産展が出店します。御幣餅やりんご、みそなどを販売し、毎年多くの買い物客でにぎわいます。阿南町を身近に感じる絶好の機会ですので、ぜひお立ち寄りください。



●昼夜の寒暖差が甘さの秘密



●豊かな山の恵みが並びます

▶政策推進課 ☎23局3507

また、6月24日(水)～26日(金)には、伊良湖岬小学校の5年生が阿南町を訪れ、山の生活や自然を体験しました。さらに、先に和地海岸で交流した阿南町の児童の皆さん

と大下条小学校で再会し、ゲーム形式で交流会を行い、楽しい時間を過ごしました。

●サンテパルクたはら収穫祭に出店

11月29日(日)に開催されるサンテパルクたはら収穫祭では、恒例の阿南町物産展が出店します。御幣餅やりんご、みそなどを販売し、毎年多くの買い物客でにぎわいます。阿南町を身近に感じる絶好の機会ですので、ぜひお立ち寄りください。

▶政策推進課 ☎23局3507

火災が発生した時の初期消火には消火器が有効ですが、皆さんの家にある消火器は、古くなったり、傷んだりしていませんか。今回は、消火器の処分方法についてご紹介します。

◆使用期限は？

種類によって異なるため、本体の表示を確認してください。

また、使用期限に満たないものでも、容器がさびたり傷んでいるものや、粉末式中の粉が固まっている場合は、ごまごまに使用できないだけでなく、破裂する危険性もありますので、交換をお勧めします。

◆処分方法は？

古くなった消火器をリサイクルする制度(廃消火器リサイクルシステム)により、処分方法は次のとおり



●消火器に表示されている使用期限(例)

みんなので取り組む防災・減災

しるちゃん

防災知恵袋

20

消火器の処分方法

古くなった消火器をリサイクルする制度(廃消火器リサイクルシステム)により、処分方法は次のとおり

種類によって異なるため、本体の表示を確認してください。

また、使用期限に満たないものでも、容器がさびたり傷んでいるものや、粉末式中の粉が固まっている場合は、ごまごまに使用できないだけでなく、破裂する危険性もありますので、交換をお勧めします。

古くなった消火器をリサイクルする制度(廃消火器リサイクルシステム)により、処分方法は次のとおり

●特定窓口(消火器販売店など)に持ち込む

●ゆうパックを利用する

郵送で処分する方法です。詳しくは、お問い合わせください。

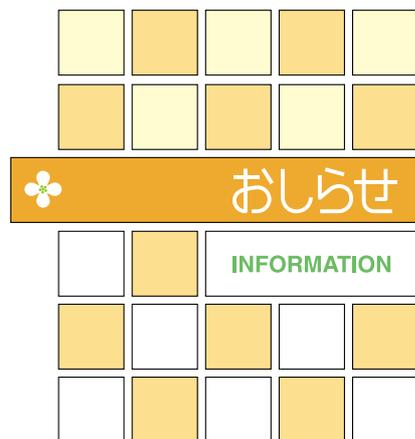
*ゆうパック専用コールセンター
☎(0120)822局3006

※この方法以外には処分できませんので、ご注意ください。

※消火器リサイクルに関する詳しい情報やお近くの特定窓口を探すには、お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

株式会社 消火器リサイクル推進センター
☎(03)5829局6773
<http://www.ferpc.jp/>

りとなります。(有料)



募集

WANTED

田原菜の花エコプロジェクト 体験 参加者

●**菜種の搾油体験とエコキャンドルづくり**
 小型搾油機による菜種の搾油体験と廃食用油を利用したエコキャンドルづくりの体験教室を開催します。環境にやさしいキャンドルで、部屋の明かりを消してエコなクリスマスを過ごしてみませんか。
 ▼対象 小学生以上（小学生は保護者同伴） ▼日時 12月19日（土）午前10時～正午 ▼場所 田原文化会館アトリエ2 ▼定員 30名（応募者多数の場合は抽選） ▼参加料

●**無料** ▼申し込み 11月30日（月）までに電話またはFAXにて（FAXの場合は、住所・氏名・生年月日・電話番号を明記） ▼持ち物 キャンドル用の空き瓶（手のひらサイズ）、植物性の廃食用油（密閉できる容器に入れてお持ちください。）
 ▼環境政策課
 ☎ 23局 7401 FAX 23局 0180

自衛隊貸費学生

▼応募資格 大学理学部・工学部の3・4年次または大学院修士課程で理学、工学を専攻している方（平成27年4月1日現在） ▼学資金 月額5万4000円（卒業「修了」後、規定の期間を自衛隊で勤務した場合は返還免除） ▼申込期間 12月1日（火）～平成28年1月8日（金）まで ▼試験日 平成28年1月30日（土） ※詳しくはお問い合わせください。
 ▼自衛隊豊橋地域事務所
 ☎ (0532) 33局 2693

吉胡貝塚資料館 冬の体験講座 参加者

▼日時／講座名／内容／対象／定員／参加料 表のとおり ▼申し込み 電話またはFAXにて（FAXの

場合は、講座名・住所・氏名・電話番号を明記） ▼その他 「ほの国子どもパスポート」の提示で、小学生の入館料が無料

吉胡貝塚資料館 冬の体験講座

日時	講座名	内容	対象	定員	参加料
12/13日 10:00～15:00	つる編みのかごづくり	野山に生えているつるを取りに行き、素朴なかごをつくります。	小学校4年生以上	各20名（先着順）	300円
H28/2/7日 13:00～16:00	貝のおびなさまをつくらう	貝に、布や色紙を貼って手のひらサイズのおびなとめびなをつくります。	どなたでも	—	400円
12/22日～ H28/1/31日 随時受付 (9:00～15:00)	まが玉づくり	黒・ピンクの2種類の石から好きな色を選び、まが玉を作ります ※通常のまが玉づくり（白色）も行っています。	どなたでも	—	300円

▼吉胡貝塚資料館
 ☎ 22局 8060 FAX 22局 8070

生活

成人歯科検診はお済みですか



歯周病は30歳代以上で8割以上の方がかかっている病気で、初期において明確な自覚症状が少ないため、重症化するケースが多く、歯を失う最も大きな原因の一つです。

一生自分の歯で食べられるようにするため、検診を受け、自分の口中の状態を知りましょう。

▼対象 平成28年4月1日現在、20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の方 ▼実施期間 平成28年1月31日（日）まで ▼場所 市内指定歯科医院 ▼検診内容 歯周疾患の検査 ▼持ち物 成人歯科検診受診券（5月に発送済） ▼費用 無料 ▼その他 受診券の再発行が必要な方は、ご連絡ください。
 ▼健康課（市役所内）
 ☎ 23局 3515 FAX 23局 3810

▼健康課（あつみライフランド内）
 ☎ 33局 0386 FAX 33局 0319

ペットは正しく飼うまじょう

●犬の放し飼いはやめよう

放し飼いの犬が、子どもなどを追いかけてケガをさせたり、犬自身が交通事故に遭ったりすることがあります。きちんと鎖などをつないで飼いましょう。



また、犬の首輪には必ず鑑札を付けてください。鑑札の付いていない犬は、野良犬と同じ扱いとなります。
●フンの後始末をしっかりしよう

散歩中の犬のフンは、道路や公園に放置せず、必ず責任をもって処理しましょう。処理後のビニール袋の投棄も絶対にやめましょう。

◆犬の登録と狂犬病予防注射

生後91日以上の飼い犬は、市町村での登録と狂犬病予防注射が義務づけられています。登録は生涯に1回、狂犬病予防注射は毎年1回です。

▼環境政策課 ☎23局3541

ひょうり親家庭の相談

生活や子育て、就業などお気軽にご相談ください。

▼場所 市役所子育て支援課 ▼時

間 午前8時30分～午後5時（予約優先） ▼その他 予約者に限り、田原・赤羽根福祉センター、あつみライフランドでも相談可

▼子育て支援課

☎23局3513 FAX23局3545

年末の交通安全県民運動 12月1日火～10日木

年末年始を迎えるこの時期は、最も交通事故が多発する時期です。飲酒運転は絶対にやめ、思いやりある運転で交通事故をなくしましょう。

●運動の重点

- 飲酒運転を根絶しよう
- 子どもと高齢者を交通事故から守ろう
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故をなくそう
- 後部座席を含めたすべての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう



▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

年末の安全なまちづくり県民運動 12月1日火～20日日

12月は年の瀬を控え、犯罪がおこ

りやすい時期です。

また、市内では自動車やオートバイ、自転車などの車両を対象とした窃盗犯罪の増加が心配されます。

これを防ぐため、年末にむけて、地域の皆さんと防犯協会、警察、市が協力しあい、犯罪を未然に防ぐ活動を強化して展開します。皆さん一人一人が防犯意識を高めながら、安心して暮らせるまちづくりをめざしましょう。

●運動の重点

- 住宅を対象とした侵入盗の防止
- 【年間取組事項】
- 特殊詐欺の被害防止
- 自転車盗の防止
- ひったくりなど街頭で発生する犯罪の防止



▼市民協働課
☎23局3504 FAX23局0180

人権週間

12月4日金～10日木

人権は、私たち一人一人の生命や自由・平等を保障し、日常生活を支えている大切な権利です。

日常生活を振り返って、「他人の

権利を侵していることはないだろうか」「自分の人権が侵されていないだろうか」など、身近なことから人権を考えてみましょう。

日ごろの生活の中で困りの方は、お近くの人権擁護委員または法務局にご相談ください。

▼名古屋法務局豊橋支局

☎(0532)54局9278

FAX(0532)54局9280

寄付

DONATION

次の方からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

▼10月15日、田原市医師会様から田原市内保育園、専門学校などの保健向上・園児、学生の健康保持のため、パルスオキシメータ23台。



◆お詫びと訂正

広報たはら11月1日号7頁、家庭相談員の氏名に誤りがありました。お詫びして訂正します。
正しくは、渡辺美保子さんです。

歴史探訪

クラブ

其の
168



History Inquiry Club

文化生涯学習課 ☎ 23局3635

FAX 22局3811

パワースポットを探せ 役行者の像

前からずっと気になっていたことがありました。それは役行者の石造物の存在です。役行者は、古代の呪術者で、修験道の開祖としてあがめられています。実在の人物ですが、その人物像はのちの伝説によるところが大きいのです。

修験道とは大自然そのものを神とし、霊山に登り修行をつみ、その得た呪力を持って祈禱を行い人々を救う、極めて実践的な宗教といえます。渥美半島の山は修行に適した険し

いものとはいえませんが、蔵王山や滝頭山、雨乞山などは霊山の対象や修行の場になっていたことが想像されます。蔵王山には行者岩と呼ばれる岩、蔵王権現、熊野社、滝頭山には行場としての滝や不動さん、雨乞山の西側には山田の泉福寺のような山寺などの存在があります。

田原市においては、山岳の修験道の象徴としての役行者の像が太平洋岸に広く分布しています。石神町の観音堂、折立町の神明宮、吉胡町の地域密着型複合福祉施設・田原ゆの里、高松町大日庵、大草町本郷神社・半身神明社、東神戸の天友寺などに



●高松町大日庵の役行者

祀られています。特に吉胡町のもものは大岩の上に安置され、お祭りも開かれており、昔から信仰の対象となっていました。渥美半島では修験道の霊場である奈良県の大峯山に参拝する講が残っている地区もあり、百々神社には明治33年、大峯山に33度登山を行った記念碑が残っています。

役行者にこだわる理由は、①古代から中世の寺院が修験道の霊地につくられる場合が多い②霊地は人々の記憶に刻み込まれる③そして修験道の開祖である役行者の像が祀られた、という流れがあると考えられるためです。いわゆる役行者ゆかりの地は、

強力なパワースポットともいえるのです。役行者の姿は、ひげをたくわえた老人で、岩に座り、ずきんを被り、すねをあらわにした足は一本歯の高下駄を履いて、右手に巻物、左

手に錫杖を持ちます。この独特の姿から他の石仏やお地藏さんとはすぐに見分けが付き



●折立町神明宮の役行者

ます。役行者の像は、多くの人の信仰を集め、祀られていたはずですが、いつの間にか忘れられ、近くにある寺社に移されたものが多く見られます。

(増山)

今月の「表紙」

▼3頁に投稿いただいた「食改さんや」ページ「渥美」さんが考案したレシピは、栄養満点!!市ホームページのトップ右側「クックパッド」をクリックしてください。田原の食材を使ったレシピが写真付きで解説されています。ぜひお試しを。

【表紙の写真】食生活改善推進員とページ「渥美」による健康を考えた冬のレシピ